

第4回早稲田大学競技会／The Road of WASEDA

競技会注意事項

1. 規則について

本競技会は2026年度日本陸上競技連盟競技規則及び国内広告規定により実施する。

なお、本競技会は世界陸連公認レースである。

2. アスリートビブスについて

アスリートビブスは計測チップ付きのものを主催者が2枚配布する。そのままの大きさを胸と背に確実につけること。競技終了後、計測チップを回収するためアスリートビブスは廃棄せず、必ずチップを係の者へ返却すること。

大会当日、各団体の代表者が本部へ受け取りに来ること。

3. 招集について

1) 一次招集：各種目の**競技開始30分前**に開始し、**競技開始20分前**までに、招集所(本部横)にて行う。その際に、アスリートビブス、競技靴、着用するウェアのチェックを行う。

最終コール：**競技開始5分前**に各種目スタート地点にて、アスリートビブスの付いたユニフォームを着用した状態で行う。

2) 代理人による点呼は認めない。

3) 招集完了時刻に遅れた場合、当該種目を棄権したものとして処理する。

4. 欠場について

大会当日に欠場が決まった場合は、本部で欠場届を受け取り、**競技開始時刻の 60 分前**までに本部に提出すること。

5. 各種書類について

欠場届、記録証明書、領収書の配布場所、提出先、依頼先などは全て本部とする。

記録証明書の発行を希望する場合は、大会本部に申し出ること。

6. 競技結果について

速報サイトにて掲載する。

7. 応援・撮影について

事前に早稲田大学競走部HPに掲載の「撮影申請フォーム」から申請を行い、当日、早稲田大学から取材許可証が発行された方に限り、会場内での撮影・取材を認める。事前申請を行っていない場合は、当日、大会本部にて申請を行い、許可を得た上で撮影・取材を行うこと。

ただし、主催者および取材対象選手の所属大学からの指示に従わない場合や、競技運営・選手の競技に支障をきたすと主催者が判断した場合は、取材許可証を没収し、撮影・取材を中止させることがある。

本大会では、SpoLiveによる競技のライブ配信を実施する。会場内では配信用の撮影を行うため、観客の姿や音声配信映像に映り込む場合がある。また、配信映像はアーカイブとして公開される場合があるため、あらかじめご了承ください。

1) 撮影可能エリア

レースの撮影は主催者側で指定するバックストレートのエリア内(下図水色部分)に限る。

コース上への立ち入りは禁止とする。

危険と判断される行為があった場合は、写真を削除のうえご退場いただく場合がある。



2) メディアの撮影について

競技者の競技活動を妨げない範囲に限り、撮影可能エリア以外での撮影を認める。

3) プライベートな撮影について

レース以外の場면을撮影する場合は、**本人および所属大学の関係者の許可**を必ず得ること。

撮影した画像や動画をSNS等に掲載する際も、同様に**本人・大学関係者の了承**を得ることを原則とする。

8. 駐車場の利用について

1) 事前に申請した団体は「正門駐車場」、一般観客は「北門駐車場」を利用すること。

2) 大会当日は正門駐車場に案内係がいるため、その指示に従うこと。

9. 待機場所について

- 1) 今競技会における待機場所として、**100号館111、113、114、201、202、203、204教室を6:00～11:00の時間で開放する。**
- 2) 盗難等のトラブルを防ぐため、貴重品の管理は各自で徹底すること。

10. その他

- 1) 2026年度の日本陸上競技連盟競技規則修改正点について特に注意すること。
- 2) 競技運営上、多少の競技日程変更がある場合もある。
- 3) 競技中の事故等による身体の故障の場合、医務員が応急処置を行う。
- 4) 緊急車両の手配について、救急車などの緊急車両を手配する事態が起こった場合、一刻を争う事態でない限り大会本部および競技場側の許可なく手配をしないこと。手配する場合は、大会本部より車両の手配を行うので、その際は、詳細を含め大会本部に連絡すること。
- 5) 早稲田大学陸上競技場開門時刻について、**出場選手およびその関係者の入場可能時間は、午前6時00分からとする。**
- 6) 競技運営上の諸問題は大会総務、競技規則上の諸問題は審判長が決定する。
- 7) その他、不明の点は大会本部に問い合わせること。